

S.COAT No.2015 ECO HXクリヤー

(PRTR 特化則対応 10:1 速乾タイプ)



1. 製品の特徴

(4類第2石油類 荷姿 16L 2014年6月上市)

- 1) 速乾タイプの PRTR 特化則対応のクリヤーです。
- 2) 乾燥性作業性の良好なクリヤーです。
- 3) 他社 10:1 に比べ光沢が良好で磨き作業性、ボカシ際の馴染み、および密着性に優れ、膜切れが起こりにくいクリヤーです。
- 4) 実車塗装実績 20万台。促進耐候性試験合格。

2. クリヤー、硬化剤、シンナーの配合量と希釈塗料の可使時間

混合比率（重量比率）			希釈塗料の可使時間(時間)		
クリヤー	硬化剤	シンナー*	10°C	20°C	30°C
100	10	5~15	8	3	1.5

*シンナーは推奨量であり、状況により量を調整してください。

3. 乾燥時間

	乾 燥 温 度 (°C)			
	10°C	20°C	30°C	60°C
指 觸 乾 燥	7分	5分	3分	—
強制乾燥前セッティング	0~5分	0~5分	3~5分	—
コンパウンド研ぎ可能	48時間	16時間	8時間	15分
屋 外 放 置 可 能	36時間	24時間	16時間	20分
ガ ソ リ ニ ン O K	5日	72時間	48時間	60分
再 塗 装 可 能 時 間	—	—	—	60分
完 全 硬 化	—	7日	7日	80分

※膜厚、塗装面積、諸条件により乾燥時間は若干変わります。(標準膜厚30~50μ)

4. 硬化剤の気温による選択基準 (HXクリヤー単独で1年間通じて使用する場合)

硬 化 剂 名	塗 装 温 度 (°C)			
	5	15	25	35
速 乾	○	△	×	×
標 準	○	○	△	×
遅 乾	△	○	○	△
超 遅 乾	×	△	○	○

※冬場は超速乾や速乾シンナー、春秋は標準シンナー、夏場は遅乾や超遅乾シンナーを使用してください。塗装回数は2.5~3.5回。ボカシ塗装は残りのクリヤーに1回目シンナーを30~50%、2回目さらにシンナーを50%添加し2段ボカシで行う。

※塗装の動画を YouTube で公開しています。

5. 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合 (TX クリヤーとの併用)

製 品 名	適正温度範囲 (°C)			備 考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬 HX	5 ~ 15	10 ~ 15	—	5 °C以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋 HX / TX	—	15 ~ 25	—	HX / TX の併用あるいは混合で使用下さい。
夏 TX	—	20 ~ 30	25 ~ 40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

※HXとTXクリヤーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。

※高級車にはFTⅢ等のクリヤーの併用もおすすめします。